

## は じ め に

平成 26 年度 尼崎市青年使節団  
団長 尾田 勝重

尼崎市とアウクスブルク市が姉妹都市を提携して今年で 55 年を迎えました。この提携は日本とドイツの都市間の交流としてはもっとも歴史のあるものです。その中でも相互の青年使節団の往来は、両市の交流の中で中心的な役割を果たして参りました。この歴史ある交流に私たち 10 人が尼崎市からの使節団として関わられたことを光栄に思っております。

私たちは出発までの事前研修でドイツやアウクスブルク市のこと学んできました。しかし、ドイツに到着して実際に見る景色や街並みに目を見張りました。

団員たちにとって、訪れたさまざまな場所での経験や、言葉や食べ物、生活など異なった文化に触れることがとても良い刺激を受け、また、歴史や文化を大切にしているドイツの国民性を肌で感じたと思います。

また、現地での日々が過ぎていく中で、ホームステイ先の皆様やアウクスブルク市の市民の皆様と交流する中での温かさを感じたと思います。

始まってみれば、あっという間にアウクスブルク市での日々が過ぎ去りましたが、団員たちは人間的にも一回り大きくなったように見受けられます。また、今回の訪問が彼らの今後の人生に影響を与えるだろうとも思います。これも、青年使節団交流の大きな意義のひとつであると思います。

来年度は、アウクスブルク市から青年使節団をお迎えする番です。この団員たちが尼崎市とアウクスブルク市の交流の架け橋となって活動してくれることを期待しています。また、2 年後の 2016 年に尼崎市は市制 100 周年を迎えます。その際にも、アウクスブルク市の皆様と尼崎市でお会いできればと願っております。

最後になりますが、アウクスブルク市のグリーブル市長をはじめ市民や関係者の皆様に心から感謝を申し上げます。ありがとうございました。